

令和2年10月号

研究部だより

事務職員会研究部

木々の葉の色が変わり始め、秋の訪れも目に見えてわかるようになってきました。今年度は、例年とは違う状況の中で教育活動が行われています。みなさんも学校事務職員として「今できることは何か」を常に問い続けながら過ごしてきたのではないのでしょうか。今こそ学校運営に主体的かつ積極的に参画し、力を発揮していく時です。

「第2期活動プラン」スタートです！

平成26年度に事務職員会のグランドデザインが策定され、その実行策として5年間の活動プランが策定されました。その活動プランも昨年度で終了し、今年度より新たに第2期活動プランがスタートします。

「子どもの豊かな育ち」を学校事務職員のミッションと捉え、事務職員会のテーマである「教育の質を高める教育事務を創造する」ために第1期活動プランに引き続き5年間の活動プランが設定されています。今年度は、第2期活動プランの初年度である「学校事務職員の専門性と役割」を重点に研究を行います。

第2期活動プランは図のようにイメージできます。「子どもの豊かな育ち」の実現に向け、教育の質を高める教育事務を担っていくために基盤となる「学校事務職員の専門性と役割」に、前活動プランの各重点をより広域に捉え、表現を一般化した「財務マネジメント」、「情報マネジメント」、「カリキュラムマネジメント」、「組織マネジメント」を設定し、前活動プランからの進化（深化）を図ります。

それぞれの研究の重点を個別に捉えるのではなく、総合的に捉え、他職種や保護者・地域を巻き込んで大きな歯車を動かすイメージを持っていただけたらと思います。





令和2年度 研究の重点「学校事務職員の専門性と役割」

みなさんは「学校事務職員の専門性と役割」という言葉を聞いてどのようなことを思い浮かべるでしょうか。学校事務職員の専門性と役割は、事務職員が職務を遂行する上で基盤となるものです。行政職員としての専門性と学校職員としての専門性が求められる自身の職についての理解を深め、役割を意識することは、遂行する職務の内容や質に大きく影響します。普段無意識に行っていることを意識化し、価値付けをし直すことで、専門性や役割に対する自覚と意識が高まってくるはずで、ぜひ、今年度はそれらを意識して、教育の質の向上に貢献していきましょう。

R2 <学校事務職員の専門性と役割>

★専門性★ 教育行政職員としての専門性

○行政職員としての専門性

学校組織において唯一、総務・財務に精通する

豊富な法知識を基に複雑多岐にわたる学校事務業務を適正に遂行する

○学校職員としての専門性

教育課程・教育活動への理解・知識を有する

採用から退職までの間、多くの経営判断に関わる

★役割★ 専門性を生かし、教育の質の向上に貢献する

○マネジメント機能としての学校事務

学校マネジメントにおいて学校事務を機能させる役割

○行政職としての視点

大多数を教育職が占める学校組織の中に多様な価値観を加える役割

○つなぐ（ハブ）機能

学校経営のあらゆる連携におけるハブ機能としての役割

○庶務系職員から企画系職員への転換

11月に行われる事務職員会 全体会では、主体的・積極的に学校経営に参加する中で、「学校職員として」また「行政職員として」の専門性を生かし、より広い視野に立って学校におけるマネジメント機能を発揮させ、教育の質の向上に貢献するためのポイントを提案していきます。

提案・講話後のグループワークでは、自身の学校事務職員としての仕事における取組度合いについてワークシートを使って振り返り、他校の事務職員との意見交換を予定しています。実りの多い会となるよう、準備を進めています★

～学校事務実践レポートの募集～

全事研では、みなさんの実践事例を募集しています！実践内容は、経験の浅い事務職員による初実践から支部単位での実践・・・等色々です。レポートはA4で2ページ以内のため、気負わず気軽に応募してください。たくさんの応募をお待ちしています！

実践区分は以下の5つに分かれています。

- ・日頃から取り組んでいる実践
- ・財務マネジメントを生かした運営改善の実践
- ・経験の浅い事務職員の実践、「初めて挑戦した」等の実践
- ・様々な学校マネジメントの実践
- ・OJTや研修会等での人材育成に取り組んでいる実践

応募していただける方は、11月13日（金）までにS.Komにて豊田中学校までご提出ください。

静教研事務研究部では、11月を「静岡財務マンス」として取組をしています。

過去の実践レポートの事例を参考に、各校で財務について実践してみたいかご検討でしょうか？

